

令和6年2月2日(金)

節分

恵方巻を食べたり、豆まきをしたりする節分の日ですが、2月3日に固定されていると思っている方が多いのではないのでしょうか。しかし実際には2月3日に限ったことではなく、立春の前日が節分の日とされています。

近年では、2021年は立春が2月3日になる関係で2月2日が節分の日でした。節分の日が2月2日だった2021年は、1897年以来124年ぶりだったのですが、来年2025年や2029年の節分が2月2日になりますので、私たちは2月2日が節分の日となる年に今後とも接することができます。

本来、節分とは季節の節目である「立春、立夏、立秋、立冬の前日」のことで、年4回あります。旧暦では春から新しい年が始まるので、立春の前日の節分（2月3日頃）は、大晦日に相当する大事な日でした。そこで、立春の前日の節分が重要視され、節分といえはこの日をさすようになりました。

昔は、季節の分かれ目、特に年の分かれ目には邪気が入りやすいと考えられており、さまざまな邪気払い行事が行われてきました。おなじみの豆まきも、新年を迎えるための邪気払い行事として続いています。

明日の節分を機会として、より良い節目にして次に向かって進みましょう。